簡単入浴 エアーベッドバス

取扱説明書

もくじ

ご使用上の注意事項

ご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みいただき、正しく安全な取扱い方を理解して下さい。

警告　この表示を無視して、誤った扱いをすると、生命にかかわる怪我を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告 生命にかかわる怪我の恐れあり

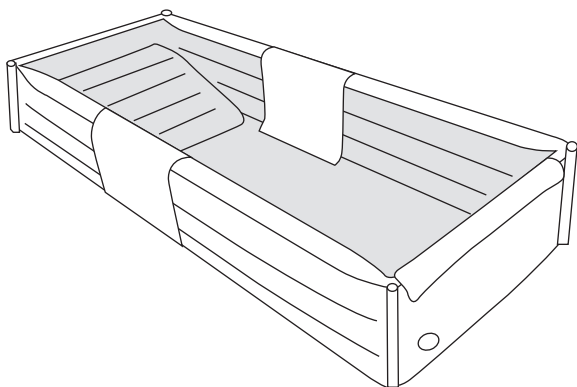
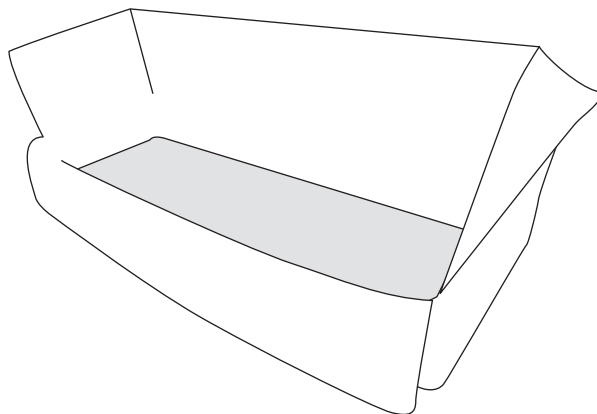
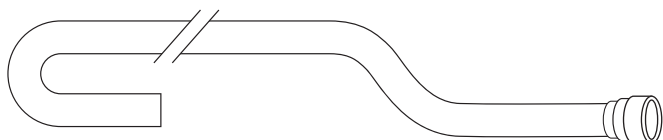
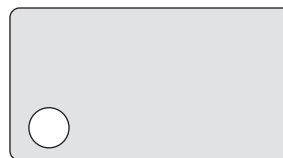
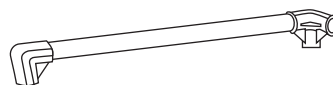
- ●健康状態に十分注意し医師とご相談の上、入浴して下さい。
- ●入浴中は、入浴者から絶対に目を離さないで下さい。
- ●浴槽内は入浴者（１人専用）以外入らないで下さい。浴槽が不安定になり、破損や怪我の恐れがあります。
- ●入浴以外の目的に使用しないで下さい。
- ●コンセント類、延長コード類を浴槽やバケツ等の水の近くに置かないで下さい。漏電の恐れがあります。
- ●浴槽を設置する際には必ず、水平で平らな安全な場所に設置して下さい。不安定な場所に設置すると浴槽が傾き、倒れたり破損して怪我をしたり溺れる恐れがあります。
- ●電動ベッドを御使用の際は、ベッドが水平になっていることを確かめてからご使用下さい。
- ●ベッドに浴槽を設置した状態でベッドを動かさないで下さい。ベッドが故障したり、怪我をする恐れがあります。
- ●電動ベッドに浴槽を設置した状態で、ベッドの背上げ下げや足上げ下げ上下操作はしないで下さい。浴槽が不安定になり倒れたり破損して、怪我をしたり溺れる恐れがあります。

- ●浴槽本体に適正量を超えてエアーを注入すると破損する恐れがあります。エアーブロワーを使用してエアー注入する場合は、特にご注意下さい。エアー注入の適正範囲は５KPaから６KPaです。
- ●体位変換時や着替え等介助する際には、入浴者がベッドから落下しないようにご注意下さい。怪我の恐れがあります。
- ●入浴者は、仰向けの状態で本製品を御使用下さい。仰向けになれない方は、呼吸を確保した状態で十分にご注意の上御使用下さい。窒息や溺れる恐れがあります。
- ●強制排水口に蓋をしないで下さい。水位が上がり溺れる恐れがあります。
- ●電動ベッドに浴槽を設置して沐浴をする際には、浴槽を設置する前に、必ず電動ベッドの高さを一番下まで下げて、ベッドを平らな状態にしてから浴槽を設置し、ご使用ください。ベッドを高い位置で使用すると不安定になり倒れたり破損して、怪我をしたり溺れる恐れがあります。
- ●電動ベッドに浴槽を設置する際は、必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜いた状態で設置し、ご使用ください。電源が入ったまま浴槽を設置したり、入浴作業をすると、誤って電動ベッドを操作し、怪我をする恐れがあります。
- ●シャワー・沐浴時のお湯の温度は適正温度でご使用下さい。熱湯による火傷や冷水による心臓麻痺などをおこす恐れがあります。
- ●入浴者の顔面にシートが垂れ掛からないように注意して下さい。窒息の恐れがあります。
- ●沐浴される時は、ご使用されているベッドの耐荷重性能をお確かめ下さい。
- ●十分に安全を確保した上でご使用下さい。
- ●濡れた手でコンセントにプラグを抜き差ししないで下さい。感電の恐れがあります。
- ●電動ベッドまたは周辺にアース線の付いている電器類をご利用の場合は、アース線がアース端子に接続されているか確認して下さい。(アース端子の無い場合は、感電事故防止のためアース端子の取付工事をお買い上げ販売店等に依頼して下さい（有料））
- ●浴槽内では立ち上がらないで下さい。滑って怪我をする恐れがあります。

注意 この表示を無視して、誤った扱いをすると、障害を負ったり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

注意 取扱いの注意

●浴槽本体及び内浴槽・水はね防止シートを部分的に加熱しないで下さい。暖房器具の熱風やその他の加熱物が浴槽本体及び内浴槽・水はね防止シートに当たると、破損の原因になり、浴槽中のお湯が流れ出し、室内を水浸しにする恐れがありますので、部分的に加熱させない様にご注意下さい。
●近くにガス類の容器や引火物を置かないで下さい。引火や破損の原因になります。
●鋭利な刃物等の接触を避けて下さい。破損の原因になります。
●部分的に浴槽を押したり引っ張ったりつぶしたりしないで下さい。破損の原因になり、浴槽中のお湯が流れ出し、室内を水浸しにする恐れがあります。
●専用ポールをご使用する際は、ポールにつかまったり、重量物を吊り下げないで下さい。
●排水口に専用排水ホースを確実に取り付けて下さい。取り付けが確実でないと結合部より水が漏れ、室内を水浸しにする恐れがあります。
●ご使用後は、浴槽本体及び内浴槽・水はね防止シートを乾いた布などで水をよく拭取って下さい。特に合わせ目やくぼみ、樹脂部品取り付け部は、丁寧に拭取って下さい。拭き残しがありますとカビ発生の原因となります。

同梱包品

お客様で用意していただくもの

●防水シート

作業時、床を濡らさないために使います。

●給湯ポンプ又は、バケツ、シャワーヘッド、ホース等

お風呂のお湯を汲み上げや入浴者への掛け湯のために使います。

●エアーブロアー（吸気・排気の機能があるもの）

浴槽本体のエアーを吸気や、排気をします。

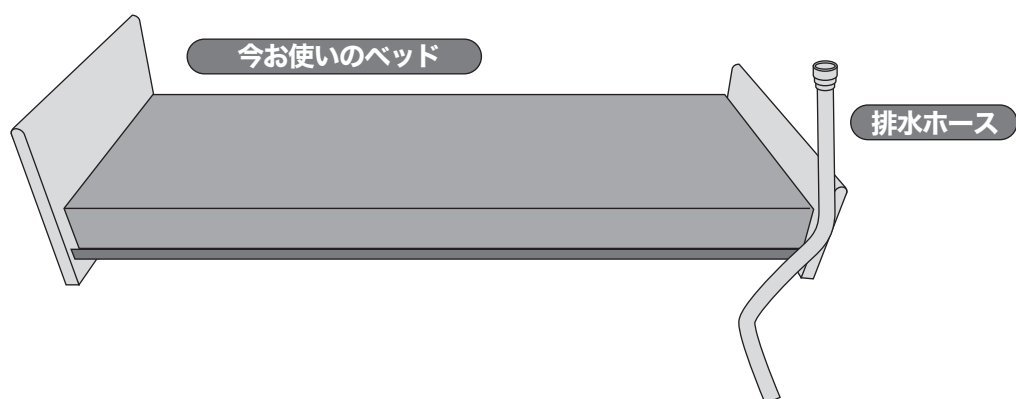
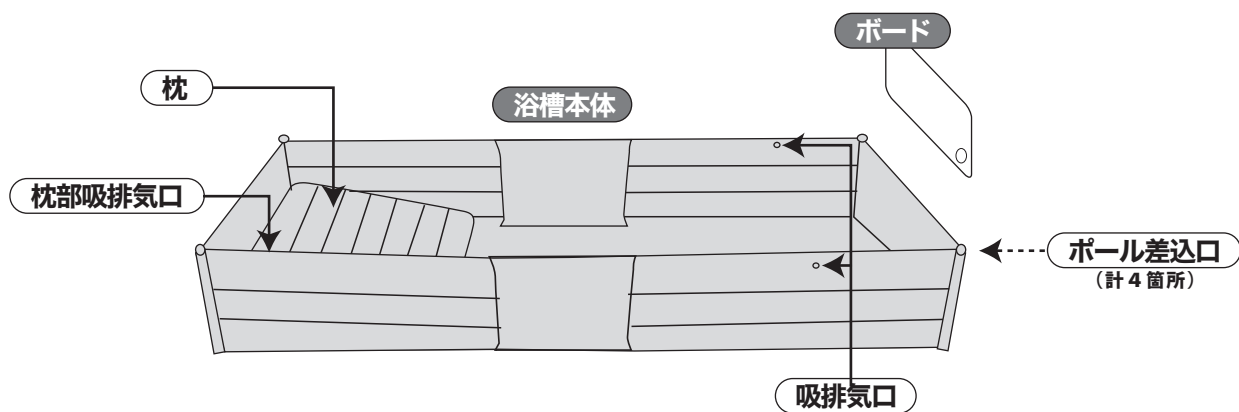
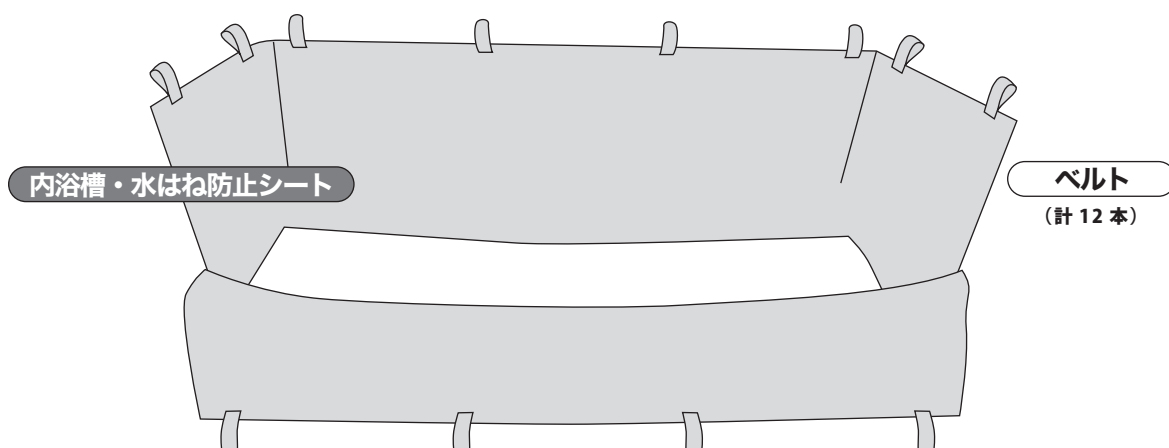
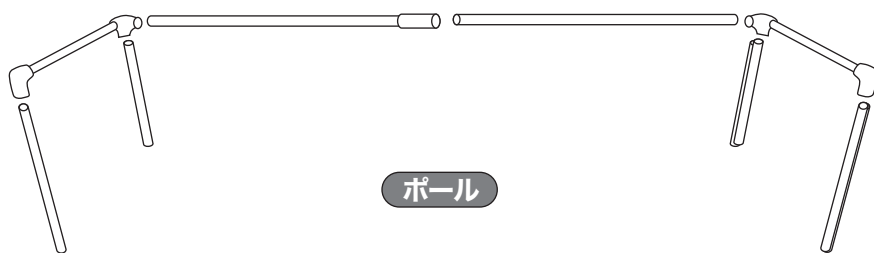
※ご不明な場合、販売店にお問い合わせ下さい。

各部名称

ポール

内浴槽・水はね防止シート
ベルト
（計 12 本）

ボード
枕
浴槽本体
枕部吸排気口
ポール差込口
（計 4 箇所）
吸排気口

今お使いのベッド
排水ホース

エアーベッドバス　エアー浴槽　入浴方法

設置前の確認をします。

●水平で平らな安全な場所に設置してください。
●電動ベッドに浴槽を設置して沐浴をする際には、必ず電動ベッドの高さを一番下まで下げて、ベッドを平らな状態にしてください。
●電動ベッドに浴槽を設置する際は、必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜いた状態で設置し、ご使用ください。

1 お湯の確保をします。

ご家庭のお風呂にあらかじめお湯を用意し、市販の給湯ポンプを利用します。
又は、ご家庭の給湯機をご使用になる場合は、容器にお湯をためておきます。

※ご使用になる前に、必ずお湯が適温（38℃～41℃）か、ご確認ください。

2 排水の準備をします。

排水ホースをご家庭の排水場所（お風呂場等）にセットします。

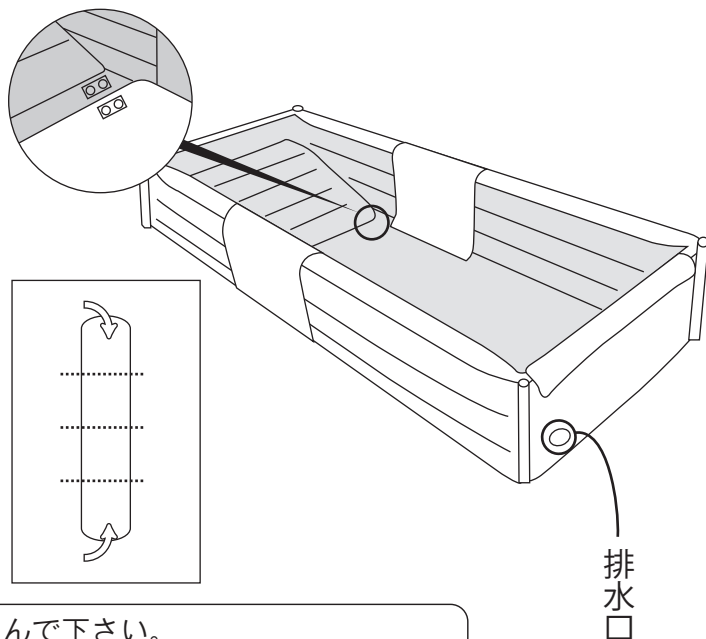
※回転ナットがついていないホースが排水側となります。

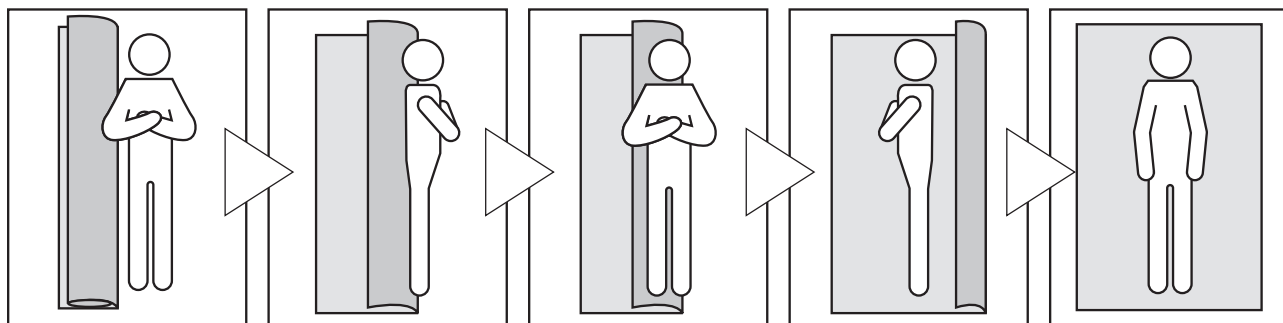
3 入浴備品の準備をします。

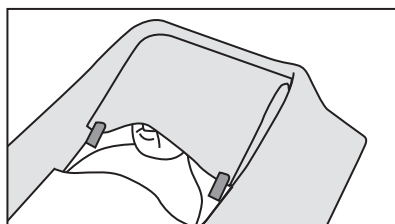
①タオル・洗浄剤等の入浴備品を用意します。
②ベッドの手前で介助者の作業範囲に防水シートを敷きます。

4 浴槽本体の準備をします。

ご購入時は、浴槽本体と内浴槽・水はね防止シートが重ね合わされ①～④の手順は完了した状態です。２回目以降にご使用の際は、①～④の手順に沿ってご使用ください。

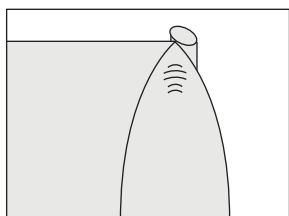
①浴槽本体と内浴槽・水はね防止シートを重ね合わせます。
②内浴槽・水はね防止シートのファスナーは全て全開にします。
③浴槽本体と内浴槽・水はね防止シート側の枕部と排水口を合わせます。
④重ね合わせた後、浴槽を縦方向に三つ折りにし、横方向に四折にします。その後、シーツを交換する要領で敷き込みます。

縦方向の三折部は、最初に広げる面を最後にたたんで下さい。

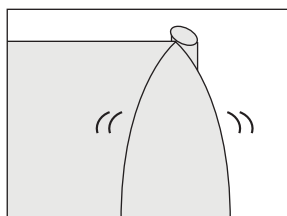
⑤ベッドおよび浴槽の頭側、足側の位置を確認します。その後、シーツを交換する要領で敷き込みます。

禁止事項　※顔にシートがかからない様にして下さい。
窒息する恐れがあります。

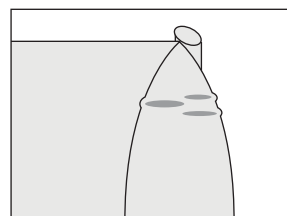
誤使用状態

正常使用状態

5 浴槽本体を膨らまします。

エアー注入の適正範囲は、５KPa～６KPa となります。それ以上注入されますと、破裂の原因となりますのでご注意ください。エアー注入の目安として、若干シワが残る程度にしてください。

エアー注入量の目安の図

適正量注入

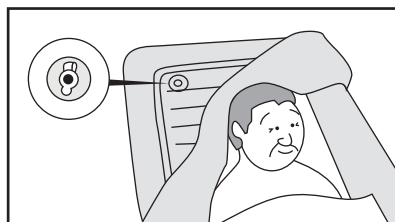
・細かいシワがある状態

注入量過多

・シワがなくパンパンに張っている状態

注入量不足

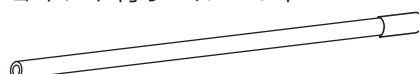
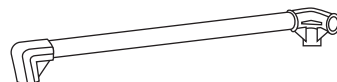
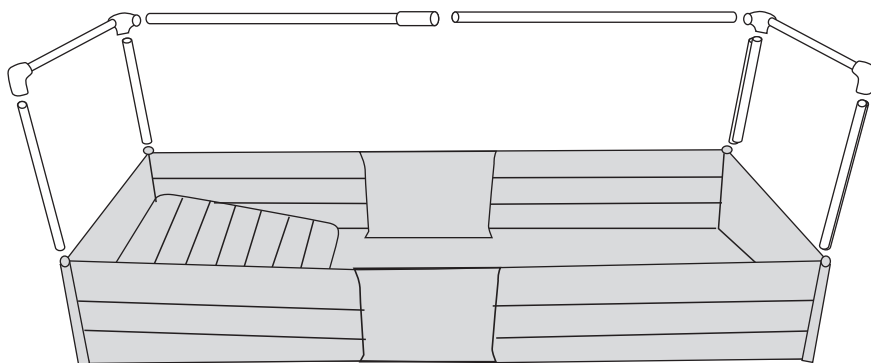
・大きいシワがある状態

①枕を膨らまします。

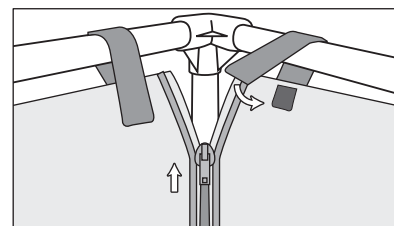
空気の入れ方により枕の高さ調整ができます。沐浴時の水位をお確かめの上、入浴者にあった高さに調整してください。

枕の吸排気口位置

※エアーを入れる際は、頭を支えながら入れて下さい。

②脱衣を行います。脱衣後はタオル等を身体に掛け、身体が冷えない様にします。
③浴槽本体を膨らませます。吸気口からエアー注入を行って下さい。入れ終わりましたら、しっかり吸気口の蓋を閉めて下さい。
④足部の形状安定の為、付属のボードを足側側面の袋に入れ、マジックテープでしっかり止めて下さい。
⑤内浴槽・水はね防止シートの排水口に、残りの回転ナット付排水ホースをつなげます。浴槽の排水口と同様にしっかりとつなぎ合わせ、ゆるみが無いことをご確認下さい。

6 専用ポールをセッティングします。

①浴槽本体の四隅にあるポール差込口に№１の柱用ポールを４本差し込みます。
②頭側、足側に№２のコーナージョイント付きポールを№１のポールに差し込みます。
③足側から№３のポールをコーナージョイントに差し込みます。
④次に頭側のコーナージョイントに№４ポールを差し込みます。
⑤№３のポールを№４のジョイント部に差し込みます。

専用ポールを浴槽に装着する際はポールを入浴者の上に落さないようにご注意下さい。

7 内浴槽・水はね防止シートを専用ポールに掛けます。

①頭側から水はね防止シートを立ち上げ、備え付けのベルトを専用ポールに回し、マジックテープで止めます。
②次に浴槽の長さ方向、足側、と立ち上げ、最後に奥側のファスナーを２箇所閉めます。

これで入浴準備が完了です。どうぞご入浴下さい。

入浴時の注意と工夫

- ●入浴は、健康状態に十分注意し医師とご相談の上、入浴ください。
- ●お湯の温度に気をつけましょう。
- ●寒い季節は、部屋を暖めて入浴しましょう。
- ●飲酒後の入浴はしないでください。
- ●浴室用品は、使う人の体や用途に合わせて選択しましょう。
- ●家族に声を掛けてから入浴しましょう。
- ●湯温は、38℃～41℃の中温程度が良いでしょう。
- ●お湯をかける際は、心臓より遠いところよりかけましょう。

8 排水から片づけ

①マジックテープをはずして、ホースを下に下げると排水できます。浴槽の底に残ったお湯は内浴槽の頭側を持ち上げて水分を脚側へ寄せて排水口より流します。
残った水分は、バスタオル等で、全て吸い取ります。
②排水が終わりましたら、7の逆の手順で立ち上げた水はね防止シートを専用ポールから取り外します。
③専用ポールを6の逆の手順で片付けます。

> 片付ける際は、ポールを入浴者の上に落とさないようにご注意ください。
> 怪我をする恐れがあります。

④排水口の回転ナットを回し、回転ナット付排水ホースを外します。
⑤浴槽本体、枕の順番でエアーを抜きます。吸排気機能付エアーブロアーの場合、排気機能を利用すると早く空気を抜くことができます。
⑥浴槽本体排水口の回転ナットを回し、回転ナット付排水ホースを外します。
⑦浴槽本体側の排水口をタオル等で拭いて下さい。
⑧シーツを交換する要領で浴槽本体と内浴槽・水はね防水シートを取り外します。
⑨入浴者の身体をよく拭いて着衣します。
⑩排水ホースを手繰り寄せて、排水場所に移動します。
そこで、排水ホース内のお湯を完全に抜いて下さい。

> ●完全にお湯を抜きませんと床を濡らす原因となります。
> ●排水ホース内に毛髪等がこびりつくと、つまりの原因になりますので、
> 定期的に洗い流してください。
> ●排水ホースを収納する場合、陰干しにて乾燥をさせてから収納してください。
> 汚れや水分を残したまま保管すると目詰まりやカビが発生する原因になります。

⑩使用後は、ご自宅の浴室内等で内浴槽・水はね防止シートを薄めの中性洗剤又は、ご使用のボディーシャンプー等でスポンジを利用して軽く洗い流してください。
⑪水分をよく拭き取り陰干しし、乾燥させてください。

> 乾燥が不十分ですとカビが発生することもありますのでご注意ください。

⑫4―①～④の手順で重ね合わせて折りたたみ、冷暗所に保管してください。

製品仕様

■浴槽本体	
外形寸法	長さ 1910mm× 幅（外寸）800mm/（内寸）600mm× 高さ 300mm
製品重量	3.0kg
湯張容量	190L
■内浴槽　水はね防止シート	
外形寸法	長さ 1910mm× 幅 700mm× 高さ 300mm
製品重量	1.7kg
■専用排水ホース	
寸　　法	ジョイント部より　10m
重　　量	1.2kg
■専用ポール	
外形寸法	長さ 1910mm× 幅 700mm× 高さ 760mm
重　　量	1.5kg（組み立て完成品）

■セット	エアー浴槽本体／内浴槽・水はね防止シート／専用排水ホース／専用ポール
■オプション	給湯ポンプ／エアーブロワー／シャワー

保証内容

この商品の保証はお買い上げ日より６ヶ月間です。お買い上げの日から保証期間中に､取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき無料修理いたしますので、お買い上げいただいた販売店へお問い合わせ下さい。

１．保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
　①使用上の誤り、又は改造や不当な修理による故意又は損傷
　②お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障又は損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障又は損傷
　④車両、船舶などに搭載された場合に生じる故障又は損傷
２．ご転居の場合は事前にご連絡下さい。
３．保証は日本国内においてのみ有効です。
４．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理について不明の場合は、お買い上げいただいた販売店へお問い合わせ下さい。

お買上げ年月日	販売店
年　　月　　日 より６か月	

総販売元

介護２４株式会社
〒０６０－０００１北海道札幌市中央区北１条西１０丁目 1-4 サンマウンテンビル 2F
ＴＥＬ．０１１－２３３－５２５０　ＦＡＸ．０１１－２３３－５２５１